

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成20年11月10日

【四半期会計期間】 第57期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

【会社名】 株式会社マキヤ

【英訳名】 MAKIYA CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川原 崎 康 雄

【本店の所在の場所】 静岡県沼津市三枚橋字竹の岬709番地の1

同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行っております。

静岡県富士市大淵2373番地

【電話番号】 (代表) 0545-36-1000

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務部長 柳 野 陽 一

【最寄りの連絡場所】 静岡県富士市大淵2373番地

【電話番号】 (代表) 0545-36-1000

【事務連絡者氏名】 取締役経理財務部長 柳 野 陽 一

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所

(東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第57期 第2四半期 連結累計期間	第57期 第2四半期 連結会計期間	第56期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(千円)	32,325,981	16,232,247	67,190,718
経常利益	(千円)	657,307	338,895	1,382,970
四半期(当期)純利益	(千円)	265,543	84,204	539,347
純資産額	(千円)	-	11,783,630	11,639,018
総資産額	(千円)	-	29,723,835	29,663,341
1株当たり純資産額	(円)	-	1,153.68	1,138.41
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	25.99	8.24	52.42
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	-	39.64	39.24
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	393,151	-	1,479,798
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	851,447	-	704,500
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	357,459	-	2,498,259
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	-	827,789	929,436
従業員数	(名)	-	462	471

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	462 (1,168)
---------	-------------

(注) 1 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

2 臨時従業員数には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	248 (577)
---------	-----------

(注) 1 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

2 臨時従業員数には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

事業部門	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	仕入高(千円)	構成比(%)
家庭用品	1,553,451	12.4
家庭電気製品	852,466	6.8
インテリア用品	281,160	2.3
カー・レジャー用品	389,202	3.1
D I Y用品	589,675	4.7
食品	8,850,440	70.7
その他	-	0.0
合計	12,516,394	100.0

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 仕入高は、仕入実績金額に基づいて記載しております。

(2) 受注状況

当社グループは主として商品の仕入販売を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

事業部門	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	売上高(千円)	構成比(%)
家庭用品	2,089,505	12.9
家庭電気製品	1,116,707	6.9
インテリア用品	397,063	2.4
カー・レジャー用品	608,141	3.8
D I Y用品	831,623	5.1
食品	11,185,758	68.9
その他	3,450	0.0
合計	16,232,247	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融市場の混乱や、原油価格・穀物価格の高騰による個人消費の停滞等、景気の先行き不透明感は一層強まる状況で推移いたしました。

当小売業界におきましては、個人消費の低迷、商品の仕入価格の相次ぐ値上がり等、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは当第2四半期連結会計期間におきまして、1店舗の開店をいたしました。

食品スーパー「ポテト」として、平成20年6月に移転のため閉店した岩本店を7月に新岩本店としてオープンいたしました。

一方、当第2四半期連結会計期間におきまして、閉店した店舗はありませんでした。

これらの店舗政策を通して、より強固な財務体質を築くとともに、常に出店余力を残しつつ、収益力の改善に努めてまいりました。

売上高

当第2四半期連結会計期間の売上高は162億3千2百万円となりました。

個人消費が停滞する中、既存店の売上高については、徹底した低価格化、お客様に支持される店作りに取り組むことにより、当社グループの主力業態であります「エスポット」、「ポテト」とともに堅調に推移いたしました。

営業利益

当第2四半期連結会計期間の営業利益は3億1千6百万円となりました。熾烈な価格競争により、粗利益が確保しづらい状況にありますが、徹底した店舗オペレーションの効率化、販売促進コストの低減等によりほぼ前年同期並になりました。

経常利益

当第2四半期連結会計期間の経常利益は3億3千8百万円となりました。

四半期純利益

当第2四半期連結会計期間の四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税8千1百万円、法人税等調整額1億7百万円等により8千4百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は297億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比較して6千万円増加いたしました。

流動資産は、67億8千1百万円と前連結会計年度に比較して1億2千8百万円減少いたしました。

固定資産につきましては、出店予定地の土地の取得等によりまして有形固定資産が5億9千万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較し、1億8千9百万円の増加の229億4千2百万円となりました。

また、負債につきましては、土地取得にかかる長期借入金が4億6千7百万円増加したものの、未払法人税等の減少額1億6千1百万円等によりまして、8千4百万円の減少の179億4千万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比較して、1億4千4百万円増加の117億8千3百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、第1四半期会計期間末と比較して7千3百万円減少し、8億2千7百万円となりました。

当四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は2億7千3百万円、減価償却費2億1千2百万円により、仕入債務の減少額8千3百万円、利息の支払額3千5百万円等があったものの、6億5千8百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出4億2千1百万円、差入保証金の回収による収入8千5百万円等により、2億8千万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少額6億5百万円、長期借入れによる収入6億円、長期借入金の返済による支出7億3千8百万円、社債発行による収入2億9千3百万円等により、4億5千万円の支出となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,128,000
計	35,128,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,540,200	10,540,200	ジャスダック 証券取引所	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式
計	10,540,200	10,540,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	10,540,200	-	1,198,310	-	1,076,340

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社マキリ	静岡県沼津市本字千本1910番地の171	4,343	41.2
財団法人マキヤ奨学会	静岡県沼津市三枚橋字竹の岬709番地の1	700	6.6
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町1丁目10番地	510	4.8
スルガ銀行株式会社	静岡県沼津市通横町23番地	504	4.8
矢部 彰 造	静岡県沼津市	417	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	313	3.0
マキヤ取引先持株会	静岡県富士市大淵2373番地	296	2.8
矢部 宏 泰	静岡県沼津市	248	2.4
矢部 隆	静岡県沼津市	193	1.8
中央三井信託銀行株式会社	東京都港区芝3丁目33番1号	187	1.8
計		7,715	73.2

(注) 上記のほか、当社は自己株式326千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合:3.1%)を保有しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 326,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,211,400	102,114	-
単元未満株式	普通株式 2,500	-	-
発行済株式総数	10,540,200	-	-
総株主の議決権	-	102,114	-

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式27株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マキヤ	静岡県沼津市三枚橋 字竹の岬709番地の1	326,300	-	326,300	3.1
計		326,300	-	326,300	3.1

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	887	900	900	900	900	919
最低(円)	849	853	870	871	870	883

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役社長	代表取締役	矢部彰造	平成20年10月7日
取締役会長	代表取締役	矢部 隆	平成20年10月7日

(2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役社長 (代表取締役)	専務取締役	川原崎康雄	平成20年10月7日
専務取締役 (人事総務部長)	取締役 (人事総務部長)	磯野修一	平成20年10月1日

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	827,789	929,436
売掛金	315,784	323,353
商品	5,103,043	5,068,597
その他	535,112	589,234
貸倒引当金	388	370
流動資産合計	6,781,340	6,910,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1 8,565,817	1 8,826,157
土地	8,535,384	7,641,458
その他(純額)	1 277,859	1 320,747
有形固定資産合計	17,379,061	16,788,364
無形固定資産		
713,430		706,935
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,441,468	3,634,254
その他	1,414,453	1,624,462
貸倒引当金	5,920	927
投資その他の資産合計	4,850,001	5,257,789
固定資産合計	22,942,494	22,753,089
資産合計	29,723,835	29,663,341
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,129,191	5,343,056
短期借入金	4,340,335	4,657,915
未払法人税等	99,965	261,588
賞与引当金	149,807	137,661
ポイント引当金	96,551	92,265
その他	1,505,000	1,529,954
流動負債合計	11,320,850	12,022,440
固定負債		
社債	740,000	500,000
長期借入金	4,551,006	4,083,717
退職給付引当金	686,348	750,449
役員退職慰労引当金	155,199	155,679
その他	486,799	512,034
固定負債合計	6,619,353	6,001,881
負債合計	17,940,204	18,024,322

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	9,591,631	9,402,732
自己株式	306,103	297,173
株主資本合計	11,567,474	11,387,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216,680	253,347
繰延ヘッジ損益	524	1,834
評価・換算差額等合計	216,155	251,512
純資産合計	11,783,630	11,639,018
負債純資産合計	29,723,835	29,663,341

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	32,325,981
売上原価	25,073,702
売上総利益	7,252,278
販売費及び一般管理費	6,687,839
営業利益	564,438
営業外収益	
受取利息	4,554
受取配当金	6,480
受取家賃	123,567
その他	103,175
営業外収益合計	237,777
営業外費用	
支払利息	72,066
不動産賃貸費用	31,873
その他	40,967
営業外費用合計	144,908
経常利益	657,307
特別損失	
減損損失	65,227
特別損失合計	65,227
税金等調整前四半期純利益	592,080
法人税、住民税及び事業税	96,016
法人税等調整額	230,520
法人税等合計	326,536
四半期純利益	265,543

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	16,232,247
売上原価	12,509,496
売上総利益	3,722,751
販売費及び一般管理費	1 3,405,910
営業利益	316,840
営業外収益	
受取利息	2,311
受取家賃	61,308
その他	38,998
営業外収益合計	102,618
営業外費用	
支払利息	34,711
不動産賃貸費用	16,543
その他	29,308
営業外費用合計	80,563
経常利益	338,895
特別損失	
減損損失	65,227
特別損失合計	65,227
税金等調整前四半期純利益	273,668
法人税、住民税及び事業税	81,491
法人税等調整額	107,971
法人税等合計	189,463
四半期純利益	84,204

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	592,080
減価償却費	420,082
減損損失	65,227
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,011
賞与引当金の増減額(は減少)	12,145
ポイント引当金の増減額(は減少)	4,285
退職給付引当金の増減額(は減少)	64,101
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	480
役員賞与引当金の増減額(は減少)	7,468
受取利息及び受取配当金	11,034
支払利息	72,066
為替差損益(は益)	810
売上債権の増減額(は増加)	7,568
たな卸資産の増減額(は増加)	42,234
仕入債務の増減額(は減少)	213,865
未払消費税等の増減額(は減少)	100,943
その他	29,779
小計	709,372
利息及び配当金の受取額	11,034
利息の支払額	69,660
法人税等の支払額	257,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,132,876
有形固定資産の売却による収入	93,325
貸付金の回収による収入	5,466
敷金及び保証金の差入による支出	19,453
敷金及び保証金の回収による収入	215,865
その他	13,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	851,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	340,000
長期借入れによる収入	1,800,000
長期借入金の返済による支出	1,310,290
社債の発行による収入	293,359
自己株式の取得による支出	8,929
配当金の支払額	76,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	357,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	810

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

現金及び現金同等物の増減額（は減少）	101,647
現金及び現金同等物の期首残高	929,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	827,789

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

- 1 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- 2 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 10,517,275千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 10,779,682千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの	
給料手当	2,067,093千円
賞与引当金繰入額	141,076千円
退職給付引当金繰入額	15,122千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,700千円

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの	
給料手当	1,037,752千円
賞与引当金繰入額	141,076千円
退職給付引当金繰入額	7,762千円
役員退職慰労引当金繰入額	7,211千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	827,789千円
現金及び現金同等物	827,789千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計(累計)期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	10,540,200

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	326,327

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年5月13日 取締役会	普通株式	利益剰余金	76,679	7.50	平成20年3月31日	平成20年6月27日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年11月4日 取締役会	普通株式	利益剰余金	76,604	7.50	平成20年9月30日	平成20年12月4日

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1,153円68銭	1,138円41銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,783,630	11,639,018
普通株式に係る純資産額(千円)	11,783,630	11,639,018
普通株式の発行済株式数(千株)	10,540	10,540
普通株式の自己株式数(千株)	326	316
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	10,213	10,223

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	25円99銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	265,543
普通株式に係る四半期純利益(千円)	265,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,213

第2 四半期連結会計期間

当第2 四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	8円24銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2 四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	84,204
普通株式に係る四半期純利益(千円)	84,204
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,213

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第57期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)中間配当については、平成20年11月4日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 76,604千円

1株当たりの金額 7円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成20年12月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月4日

株式会社マキヤ
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 向 眞生

指定社員
業務執行社員 公認会計士 篠原 孝広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マキヤの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マキヤ及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。